

令和5年8月栃木市教育委員会定例会会議録

令和5年8月栃木市教育委員会定例会を、令和5年8月28日栃木市役所に招集した。

- 1 本委員会の出席者は、次のとおり  
青木 千津子教育長 福島 鉄典委員 西脇 はるみ委員  
大塚 裕子委員 舘野 知美委員 林 慶仁委員
  
- 2 本委員会の欠席委員は、次のとおり  
本委員会の欠席委員は、後藤 正人職務代理。
  
- 3 本委員会に出席を求められた職員は、次のとおり  
教 育 次 長 金 井 武 彦  
参事兼教育総務課長 佐 藤 義 美  
保 健 給 食 課 長 飯 島 彰  
文 化 課 長 黒 川 幸 咲  
教育総務課主幹兼教育政策係長 早 乙 女 豊
  
- 4 本委員会の署名委員は、次のとおり  
林 慶仁委員
  
- 5 本委員会の書記は、次のとおり  
教育総務課 主任 橋本 汐里
  
- 6 本委員会の会議案件は、下記のとおり

日程第 1 会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議事

報告第 2 号 令和 5 年度各学校運営協議会による「基本方針の承認」について

報告第 3 号 (仮称) 栃木東地域学校給食センター整備基本計画の改訂について

報告第 4 号 (仮称) 栃木東地域学校給食センター基本設計書の策定について

議案第 3 8 号 栃木市読書活動推進計画の策定について

日程第 4 その他

《会 議》

教 育 長 — 午前9時30分定例会の開会を宣し、出席委員、出席を求められた職員、署名委員、書記及び会議案件を報告する。 —

教 育 長 日程第1 会議録の承認について、でございます。7月定例教育委員会の会議録につきましては、あらかじめ委員の皆様へに配付したとおりでございます。ご質問ご意見等はございますでしょうか。

— なしの声 —

教 育 長 それでは、会議録への署名をお願いいたします。

教 育 長 次に、日程第2 教育長報告でございます。

1 「あつたか栃木いじめ防止子どもフォーラム」について

8月9日（水）「あつたか栃木いじめ防止子どもフォーラム」を昨年同様リモートにて開催。各小中学校から2、3名の代表生徒、合計88名が10班に分かれて意見交換を行った。また、各班に1、2名の高校生及び大学生のボランティアコーディネーターが配置され、進行を行った。会の後半では「いじめを生まないために、私たちにできること」をテーマに意見交換を行い、その中で、小学生からは、「自分のクラスには、いじめの場面を見たときに、やめろと言える人がいるので、そういう人を増やしていきたい」等といった意見が出され、中学生からは「考え方や価値観が違っていても、相手を尊重する気持ちを大切にすることが大事なのではないだろうか」等といった意見が出された。リモートにより、各自学校での発言だったこともあり、子ども達は落ち着いて発言できているように感じた。何よりボランティアコーディネーターの高校生や大学生が、子ども達の意見を尊重し、共感しながら、上手く話を繋いでいく様子が素晴らしかった。年齢の近いロールモデルとなる高校生や大学生と接することで、子ども達は刺激を受ける部分があったのではないかと思います、これからも大学生や高校生のボランティアをお願いしていきたいなど実感した。最後に子ども達の素晴らしい姿を称賛するとともに、このフォーラムでの学びを学校の中、地域、家庭でも広げてほしいという話をし、最後に「君たちはどう生きるか」という本を紹介した。今から88年前、戦争が激化していく時代に、子ども向けの良書がないということを嘆いた山本有三氏が、日本少国民文庫を作り、最終巻である16巻目に「君たちはどう生きるか」が刊行された。作中ではいじめの問題についても扱っている。また、この本の著者である吉野源三郎氏がこの本を貫くコンセプトを本の扉の部分に短い言葉で残しており、その言葉は時代を超えて今なお通じる大切なメッセージかと思ひ紹介した。また、この本を夏休みの読書感想文の題材としてはどうかと、子ども達に伝えた。

2 「広島平和記念式典中学生派遣報告会」について

8月24日（木）にキョクトウとちぎ蔵の街楽習館にて「広島平和記念式典中学生派遣報告会」を実施した。派遣事業はコロナ禍により4年ぶりの実施となり、市内中学校から各校代表の生徒2名、計26名が参加した。子ども達は8月5日から7日までの3日間広島県に派遣され、広島平和記念資料館を見学して学んだことや、8月6日に行われた平和記念式典に参列して感じたこと等、5つのグループに分かれて発表を行った。借り物の言葉ではなく、実際に現場で自分の五感

で感じ、学んだことを自分の言葉で訴える姿を見て、中学生の学びの力の凄さを感じた。そして、これから戦争体験者が少なくなっていく中で、平和な社会を作るための大きなキーポイントが皆さんのような若い世代にかかっているということ。また、自分達がこれからどう行動していくべきなのか、ということを考えながら、出来ることを毎日積み上げていってほしいということを講評として伝えた。

— 絵本「字のないはがき」より —

報告会の際に紹介しようと思い、用意した絵本「字のないはがき」を紹介。この作品は、中学2年生が現在使用している国語の教科書にも掲載されている。直木賞作家である故・向田邦子氏の原作を基に、同じく直木賞作家である2名の作家、角田光代氏が文を、そして西加奈子氏が絵を書き、2019年に絵本にした。また、8月16日に発刊された下野新聞の雷鳴抄に記事が掲載された。そこには、著者向田邦子氏について紹介するとともに、作品について、悲しい話だが悲惨な場面を強調することはない。戦争を次世代にどう伝えるか、3人の作家が教えてくれていると書かれていた。

教 育 長  
福 島 委 員

私からの報告は以上でございます。ご質問等ございましたらお願いします。

今話を聞いていて、本当に感動できる心って大事ななと思います。私も角田光代さんの大ファンなので、彼女がなぜこの作品を絵本にしたのか、よく分かった気がします。それと、リモートで行われた「あったか栃木いじめフォーラム」に私も大塚委員と一緒に参加させてもらいました。最初の頃は受け身で聞いていたんですが、大塚委員が、このコーディネーターの子達は素晴らしいっておっしゃって。この大塚委員の意見を聞いて、よくよく見直してみたら確かにすごいんです。今教育長がおっしゃったように、自分が果たしてあの子達と同じようにコーディネートできるだろうかと思いました。自分の意見ではなくて、要するに子ども達の話をしっかり聞いて、それに対してどうするか。子ども達同士をコーディネートして、もう素晴らしいなと思いました。最初は分からなかったんです。大塚委員が言ってくれたおかげで気が付けました。今も絵本を聞いて、感動していらっしゃいますけど、大塚委員は子ども達の声や性格、才能等を含めて、子ども達をよく見てらっしゃる方だなと感じました。まだ教育委員になられて間もないですけど、私は全然まだまだだなと思いましたし、こういう人が教育委員になってくださったということは、改めてすごく良かったなと感じました。また、先ほど教育長から少し話が出た、読書感想文についてですが、保護者の方から夏休みの宿題について良く聞くのが、小学校の低学年に読書感想文の宿題を課するのはどうなのかということなんです。もちろん小学生の高学年とか中学生は必要かなと思うんですけど、小学生の1、2年生はどれだけの本を読んで、どれだけの文章を作るかという差異がまだないと思うんです。やはりお母さんが子どもの宿題を手伝うことが多い中で、非常に負担だという声を聞きますのでね。どうしても今は共働きのお母さんが多いので、子どもの宿題という点、例えば理科の自由研究や読書感想文については、少し考え直してもいいのかなと思います。全員が全員やる必要あるのかなというのを提案してもらえればと思います。

教 育 長 ありがとうございます。学校によっては、宿題をスリム化しようという動きも増えているようなので、校長会で提案してみたいと思います。他にいかがでしょうか。

大 塚 委 員 先日、上の子がユニセフにすごく興味があり、東京都品川区にあるユニセフハウスに行ってきました。そこでは被爆した子ども達や足がない子ども達の映像が流れていて、その映像を見て、私も小学2年生の子どもも泣いてしまったんですけど、小学2年生でも分かるんだなと思いました。上の子もすごく感動して、戦争についてすごく興味が湧いていました。コーディネーターの方に1時間半説明をしてもらいながら、ユニセフハウスを見学しましたが、戦争というものがどのように人を壊していくか等、とても考えさせられる時間でした。小学2年生の子ども、可哀そうだと泣いてしまうくらい感動していたので、やはり伝えていくことは大事だなと感じました。また、「あったか栃木いじめフォーラム」に私の生徒さんも出ていたので、レッスンのときに話をしたんですけど、やっぱり大学生とか高校生の運び方がすごく安心したと言っていました。自分が何か発言しても拾ってくれて、やっぱりそれってすごいことだと思います。その子は今思春期で、あまり私とも沢山お話をしてくれる子ではないんですけど、すごく楽しかった、意味のある時間だったと言っていたので、すごく良いことだなと感じました。また、広島県への派遣にも別の生徒さんが参加していて、どうだったか聞いたら、他校の子達と交流ができたことや灯籠流しがすごく良かったし、勉強になったと言っていました。また、24日に行われた報告会についても、他校の友達になった子達と一緒に作っていくことが楽しかった。広島に行っていた3日間が本当に充実していたと言っていて、その話を聞きながら、私はその子の気持ちがすごく伝わってくるなと思いました。

教 育 長 ありがとうございます。そのことを広く伝え広めていってほしいなと子ども達には期待をしています。他にいかがでしょうか。

西 脇 委 員 広島県への派遣事業は全国の学校で行っているんですか。

教 育 次 長 比較的实施している自治体が多いかと思いますが、全ての自治体で実施しているかということ、全てでは実施していないという状況です。県南地域だと下野市や壬生町、また、小山市、野木町、結城市が合同で行っていたと記憶しております。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、日程第3 議事に移らせていただきます。報告第2号 令和5年度各学校運営協議会による「基本方針の承認」について、を議題といたします。教育総務課長より説明をお願いします。

教育総務課長 〔説明要旨〕

市内小中学校の各学校運営協議会において、校長が作成する学校運営の基本方針が承認されたことから、その承認の時期と協議内容を教育委員会に報告する旨説明。

教 育 長 報告第2号について、ご質問等ございましたらお願いいたします。

大 塚 委 員 子ども達の下校について、先生がどこまで送っていくとか、低学年の子にどのような指導しているのか、ということは学校によって方針があるんですか。という

のも、自分の子どもの学校では、担任の先生が最後の子の家まで送っていくんです。歩いているときもあれば、自転車のときもあるんですけど、結構な距離なんです。私の家は学校から近いんですけど、道路を渡るところがあって心配なので、私か家族が外に出るようにしています。子ども達が家に帰ってきているということは、ご家族が家にいるからだと認識しているんですけど、先生が最後の家まで送っていくってどうなんだろうとずっと思っていて、先生との面談の時にその話をしたことがあったんです。その時に、どこまでやっていいかが分からないけど、心配だからやっぱり最後まで送っていくしかないと言っていて、方針を学校側で決めているのかずっとお聞きしたいと思っていたんです。

教育総務課長

下校の安全性の確保というのは各学校によってだとは思いますが、学校によってはアシストネットのような登下校のボランティアの方が、登校班や近所の子ども達で集まって、一緒に送っていくという方法をとっているところが多いかと思えます。ただ、自宅の場所や学校の事情によって、そのような方法がとれないときに、担任の先生ができる限り一緒に下校している、というところもあるのではないかと思います。そこは各学校の事情によって、1人だけ離れている場所に住んでいるというどうしても、ボランティアさんでも行く方がいないということがあるのかなと思います。また、低学年だとまだ職員会議の時間まで、少し時間があるので送っていけるとか、そのような学校の事情によって対応しているのかなと思います。

教 育 長  
林 委 員

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

これは、校長先生が作成した学校運営の基本方針を承認するものだと、先ほどお聞きしました。年度が替わると校長先生の異動があるので、基本方針も大きく変わることがあり、こんなにも変わるんだと驚いた記憶があります。今回の資料を見てみると、年度を越えて計画を立てている学校が見受けられたんですけども、こういった学校は校長先生が変わっても継続して次の方に受け継いでいくものなのか。私は単年度で基本方針を立てていくものだと思っていたんですけど、年度を越えたものも可能なんですか。

教育総務課長

1年で達成できるような目標と、複数年かけないとなかなか達成できない目標とがあるかと思えます。したがって何年かかけて達成する目標を立てているところは、校長先生が変わっても引き継いでやっていくことがあるかと思えます。また地域によっては変わらない目標もあり、基本理念において変わらない目標は年度を超えてもそのまま続けていくというところがあるのかと思えます。

教 育 長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

ありがとうございます。それでは次に、報告第3号（仮称）栃木東地域学校給食センター整備基本計画の改訂について、を議題といたします。保健給食課長より説明をお願いいたします。

保健給食課長

〔説明要旨〕

令和4年4月に（仮称）栃木東地域学校給食センター整備基本計画を策定後、世界的な原材料の品薄・高騰の影響により建築資材の価格高騰が発生していること、及び補助を見込んでいた環境省の新築建築物ZEB化支援事業補助金が対象と

ならないことが判明したことから事業費の見直しを行い、併せて財政負担の軽減や平準化を図るため整備スケジュールの見直しを行うため計画を改訂する旨説明。

教 育 長 報告第3号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、次に報告第4号（仮称）栃木東地域学校給食センター基本設計書の策定について、を議題といたします。保健給食課長より説明をお願いいたします。

保健給食課長 [説明要旨]

（仮称）栃木東地域学校給食センター整備にあたり、基本設計方針、建築計画等をまとめた（仮称）栃木東地域学校給食センター基本設計書を策定する旨説明。

教 育 長 報告第4号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

林 委 員 事業費の見直しについて、建築工事費や太陽光発電設備等導入費が削減されたことは、努力された結果だと分かるんですが、厨房設備が1000万円程削減されていることについては、削減したことによって、改訂前と同じサービスが提供できるのかどうか少し疑問があります。厨房設備が減額になった理由について説明をお願いします。

保健給食課長 厨房設備につきましては623万円程の減額となっております。しかしながら、この減額によって提供するものの質が落ちることはありません。見直した部分の1つとして、当初は納品された食材等をジェット水流という設備を使用し、水圧を使って泥などを落とすという計画でしたが、全体的な事業費の見直しの中で、そういった部分は調理員の方々に担っていただくことで、まかなえるだろうという判断のもと、全体工事費の中で削減できるものは削減をしたところ。事業費を見直したことによって、給食の提供に影響は出ません。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

福 島 委 員 よく保護者の方から、夏休み中に学校給食が無いことが非常に困るという話を良く聞きます。その間学校給食センターの社員の方は、当然お休みになるかと思うんですけど、給料は出ているんですか。

保健給食課長 調理員の方々は業者を通じて委託をしております。その業者にもよりますが、例えば学童保育もやられている業者については、夏季休業中は学童保育の方に調理員さんが回ったりされているようです。また、休業中は給食を作りませんが、設備等の点検や研修会を会社の方で行っております。その間の給与については、個人によるかと思いますが、夏季休業中は給食の提供以外の仕事をしていると聞いております。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長 それでは、次に議案第38号 栃木市読書活動推進計画の策定について、を議題といたします。生涯学習課長より説明をお願いいたします。

生涯学習課長 [説明要旨]

栃木市子どもの読書活動推進計画（第2期）の計画期間が令和6年度で終了となることから、これまでの子どもの読書活動推進施策に加え、市民全体の読書活動

の推進に関する施策を新たに定める栃木市読書活動推進計画の策定に当たり、その策定方針とスケジュール等について議決を求める旨説明。

教 育 長  
大 塚 委 員

議案第38号につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。

市民アンケートの内容やどのような方を対象に行う予定か教えていただけますか。

生涯学習課長

アンケートの内容につきましては、これから栃木市図書館協議会を開いて、協議していく予定のため、まだ確定しておりませんが、対象の方につきましては、保育園や認定こども園に通っている5歳児の保護者、小学2年生、小学5年生、中学2年生及び高校2年生とし、学校を通じてアンケートの配付をお願いする予定です。

教 育 長  
福 島 委 員

他にいかがでしょうか。

読書活動において、どのような本を読むかって非常に大事だと思うんです。特に今アンケートでも小さいお子さんが対象だという報告がありましたが、要するに読書を好きになるかどうか、それが非常に大事だと思うんです。読売新聞の教育ルネサンスにも、学校の図書館や市立図書館に司書の方を何人か置いているという地域もあり、そういったことが非常に大事だというような記事が載っていたかと思います。要するに、学校司書さんを含めて、司書を今後どのように配置していくか、ということはこの計画に盛り込むかということも必要になってくるんじゃないかと思います。自分の経験で言うと、小学校3、4年生の時に夏目漱石や芥川龍之介を読めと言っても、読めない。何回も読ませられたら、読書を嫌いになるのは当たり前かなと。やっぱり子どもが興味を持つ本をいかに見つけてあげて、それを紹介して、そこで子どもが本を好きになれば、もう大人になったときには自分から進んで本を読むようになると思います。やっぱり小さい頃の経験は大事だと思っていて、司書になる方は沢山本を読んでいて、この本が良いっていうことを分かってらっしゃると思うんです。そういった司書の方々について、栃木市読書活動推進計画の中にどのようにして盛り込んでいくか。そして、国語の先生兼任司書のような方もいらっしゃると思いますので、学校図書館にそのような方をいかに配置していくか、ということも盛り込めればいいのかかなと思います。今回の計画につきましては、乳幼児から高齢者までを対象にしており、ブックスタートとして乳児検診のときに本を配付する等、小さいときから本に親しんでもらえるような取り組みを行っております。また、幼い頃から興味深い本を読むことによって、子どもの不読率が解消されていくと考えておりますし、学校の図書館司書につきましては、おそらく栃木市内の学校では100%配置されていたかと記憶しております。また現在、学校の図書館司書と指定管理を行っている栃木市図書館で連携を取り、本の紹介や配本サービスを行っておりますので、引き続き重点的に行っていけたらと思っております。

生涯学習課長

教 育 長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

教 育 長

それでは、議案第38号について、原案のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

— 異議なしの声 —



教 育 長 異議なきものと認め、議案第38号について、可決いたします。次に、日程第4  
その他に入ります。教育委員学校訪問の日程について、教育総務課主幹より説明  
をお願いします。

教育総務課主幹 — 令和5年度教育委員学校訪問日程について資料に基づき説明 —  
教 育 長 ただいまの件について、何かご意見等ございましたらお願いいたします。  
— 質問なし —

教 育 長 もしご都合がつかなくなった場合には、出来れば相対で交換をお願いできればと  
思います。また、何かご質問等ありましたら事務局までお願いいたします。  
それでは、以上で、本日の案件はすべて終了いたしました。委員の皆様から何か  
ございますか。  
— なし —

教 育 長 それでは、これもちまして本日の定例教育委員会を閉会といたします。ありが  
とうございました。

—— 午前10時47分委員会の閉会を宣した。 ——

令和5年8月28日

教 育 長

署名委員